

一般質問 (3)

健康寿命の延伸政策(がん教育・ピンクリボン・フレイル)推進を

藤田 美智子(公明)

【質問】平成25年に市教委の教育長を訪ね、健康寿命延伸に資するがん教育の重要性について意見交換をした。その際お届けした教材を活用し、市教委の協力のもと、健康課職員が講師となり、がん教育に取り組んでいる。受講児童数と効果を問う。

【答弁】平成29年度末まで約3千人が受講。実施後のアンケートで、ほぼ全児童が「家族や周りの大人にも話してみよう。自分が大人になったら気を付ける。」と回答。【質問】若年の死亡率が高い乳がんの予防啓発運動として、スカイタワーのライトアップを提案し、平成25年9月から実施された。市長

の素早い対応で休日でも検診できる協力病院を複数つくり、駅やアスタで申し込みを受け付けた。本市の女性のがん死亡率の推移を問う。

【答弁】ライトアップ等ピンクリボンキャンペーンにより、文京区の次に低い死亡率となった。都内平均と比べても12・2ポイント低い。【質問】5年前からフレイル予防に取り組んでいる千葉県柏市の効果について問う。

【答弁】要介護リスクが、滑舌の改善で30%減。外出頻度の改善で45%減。物忘れの改善で36%減の効果あり。【意見】市ホームページでフレイル予防を示し、スピード感ある展開を求める。

避難所に液体ミルクの備蓄を！ブロック塀同様万年塀の対策を！

佐藤 公男(公明)

【意見】国内販売が始まる液体ミルクを、避難所備蓄用ミルクとして、平成31年度から備蓄を求める。

【質問】ブロック塀とは規格が異なる万年塀についても、対策を講じるべきと考える。【答弁】公共施設の万年塀については、点検を行い対策を講じている。民間所有については国や都の動向を注視する。

【質問】田無福祉センターバス停への田無総合福祉センターには、花小金井行きバス停が設置されていない。センター内乗り入れ等で設置できないか。【答弁】センター乗り入れは

大きな動きがなかった西武柳沢駅周辺は何もしない方がよい？

たきしま 喜重(みらい)

【質問】いつまで経っても動く気配のない西武柳沢駅周辺はもうこのままで何もしない方がよいとの声も出ています。そもそも何のために優先整備路線と位置づけられた都市計画道路の計画なのか、富士街道の無電柱化の必要性について問う。

【答弁】地域の活性化や住みやすいまち、都市防災機能の強化等を実現するため、選定された。【意見】やはり柳沢の都市計画道路、無電柱化の必要性を認識できた。しっかりと柳沢地区のまちづくりに取り組んでいただきたい。【質問】私の質問からふるさと納税を歳入の観点から検

討していただいた。今後の取り組みについて問う。

【答弁】さらなる歳入確保につながるよう検討を進める。【意見】行政の限界を感じる民間活力を検討し、しっかりと位置づけを取り組んでいきたい。【質問】災害時、家族同様のペットとの同行避難について問う。

【答弁】獣医師会と連携し、動物愛護の観点だけではない飼主の安全に寄与することから、引き続き検討し充実を図る。【その他質問等】◇産業振興施策・観光施策◇エンディングプラン・サポート事業

情報公開・説明責任・市民参加の徹底で公平公正な社会の実現を！

山崎 英昭(みらい)

【質問】長と議会は二元代表制であり、それぞれが有権者の代表として対等でチェック・アンド・バランスの

【質問】長と議会は二元代表制であり、それぞれが有権者の代表として対等でチェック・アンド・バランスの

【質問】長と議会は二元代表制であり、それぞれが有権者の代表として対等でチェック・アンド・バランスの



本会議が行われる議場

関係にある。政党や政策の違いはあっても、それぞれが20万市民の代表として多様な市民ニーズを把握し、異なる主張も耳を傾け、互いに尊重し合い、オープンで活発な議論を通じて市民のために政策を実現するの

【質問】長と議会は二元代表制であり、それぞれが有権者の代表として対等でチェック・アンド・バランスの

【質問】長と議会は二元代表制であり、それぞれが有権者の代表として対等でチェック・アンド・バランスの

誰もが思う おなかを痛めた子はできるだけ自分で育てたいと

小峰 和美(みらい)

【質問】本来なら授かった子どもはできるだけ自分の身近な環境で育てたいと思う気持ちは誰しも持ち合わせている。現状の育児・介護休業法では、保育所入所保留通知書が必要で休業期間の延長を求めることができ



ない。そこに「落選狙い」という表現が生まれる。こうした意思とは違った思いにどう対応するのか。

【答弁】国もこうした現状に対策を検討している。【質問】自転車事故を巡る高額な損害賠償が報告されている。最近ではスマートフォンを使用しながらの運転も問題視され、「ながら運転」が原因で死亡事故に繋がったケースがある。賠償保険を義務づける条例の制定

【質問】市は情報公開をどう考えるのか。情報公開コーナーについてはどうか。【答弁】情報公開は国や自治体が業務上の記録を広く公開するためのもの。公正で民主的な行政を実現する基幹的な制度であり、市政を透明にして市民参加を進めるための重要な制度だ。情報公開コーナーは行政資料を備えつけ、情報公開等についての相談、案内や公文書の閲覧や視聴等ができ、公文書の開示請求等の受け付けも行う場だ。中央図書館とも連携していく。

情報公開コーナーは市政の窓だ！隅っこに追いやることに反対する

森 てるお(無所属)

【答弁】認識している。【意見】公平で公正な社会の実現は政治の道を志した若いころからの政治信条であり、はじめての選挙以来一貫して市民一人一人が主役となる公平で公正な社会の実現を目指して取り組んできた。そのためには情報公開・説明責任・市民参加の徹底が不可欠だが、現実の行政運営の中でこれらを徹底していくには、高い意識と深い理解が必要だ。ぜひ情報公開日本一と言われるように全ての情報を公開してほしい。また、多様な市民の声を市政に生かす広報広聴体制を整え、限られた少数の市民だけでなく多くの市民が市政に参加できるように無作為抽出やネット、スマホの活用など、取り組みを進めていただきたい。

【質問】基本的な姿勢は同意するが、情報公開コーナーは合併後、市民が利用しやすいようにつくった。保谷庁舎の解体後、情報公開コーナーはどうなるのか。【答弁】田無庁舎を中心に今後情報公開の制度を維持していく。情報公開コーナー

【質問】基本的な姿勢は同意するが、情報公開コーナーは合併後、市民が利用しやすいようにつくった。保谷庁舎の解体後、情報公開コーナーはどうなるのか。【答弁】田無庁舎を中心に今後情報公開の制度を維持していく。情報公開コーナー



公文書の閲覧や視聴等ができる情報公開コーナー(田無庁舎)

【質問】基本的な姿勢は同意するが、情報公開コーナーは合併後、市民が利用しやすいようにつくった。保谷庁舎の解体後、情報公開コーナーはどうなるのか。【答弁】田無庁舎を中心に今後情報公開の制度を維持していく。情報公開コーナー

【質問】基本的な姿勢は同意するが、情報公開コーナーは合併後、市民が利用しやすいようにつくった。保谷庁舎の解体後、情報公開コーナーはどうなるのか。【答弁】田無庁舎を中心に今後情報公開の制度を維持していく。情報公開コーナー

【質問】基本的な姿勢は同意するが、情報公開コーナーは合併後、市民が利用しやすいようにつくった。保谷庁舎の解体後、情報公開コーナーはどうなるのか。【答弁】田無庁舎を中心に今後情報公開の制度を維持していく。情報公開コーナー